通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第42期（決算日　2019年１月17日）
第43期（決算日　2019年２月18日）
第44期（決算日　2019年３月18日）
第45期（決算日　2019年４月17日）
第46期（決算日　2019年５月17日）
第47期（決算日　2019年６月17日）

（作成対象期間　2018年12月18日～2019年６月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約５年間（2015年６月26日～2020年６月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa－am.co.jp/

〈3264〉

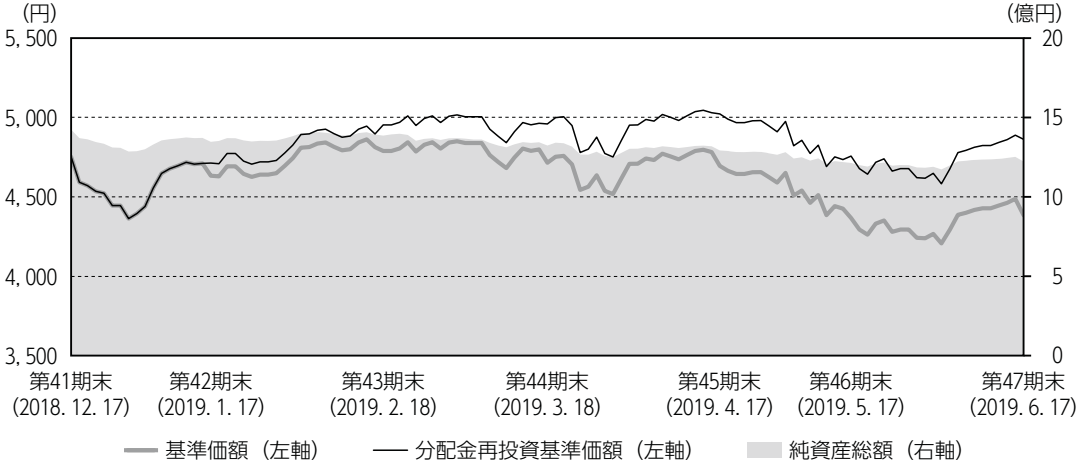
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
18期末（2017年1月17日）	8,065	180	2.3	0.0	91.1	2,790
19期末（2017年2月17日）	8,260	180	4.6	0.0	94.9	3,917
20期末（2017年3月17日）	8,068	180	△0.1	0.0	96.9	4,275
21期末（2017年4月17日）	7,598	180	△3.6	0.0	97.6	3,878
22期末（2017年5月17日）	7,763	180	4.5	0.0	97.8	3,949
23期末（2017年6月19日）	7,237	180	△4.5	0.0	97.8	3,722
24期末（2017年7月18日）	7,188	180	1.8	—	99.2	3,586
25期末（2017年8月17日）	7,011	180	0.0	—	98.1	3,346
26期末（2017年9月19日）	7,022	180	2.7	—	98.8	3,138
27期末（2017年10月17日）	6,958	180	1.7	—	97.1	3,044
28期末（2017年11月17日）	6,687	180	△1.3	—	98.1	2,866
29期末（2017年12月18日）	6,640	180	2.0	—	95.9	2,827
30期末（2018年1月17日）	6,652	120	2.0	—	96.0	2,801
31期末（2018年2月19日）	6,212	120	△4.8	—	98.7	2,408
32期末（2018年3月19日）	6,044	120	△0.8	—	98.7	2,296
33期末（2018年4月17日）	5,804	120	△2.0	—	98.6	2,171
34期末（2018年5月17日）	5,539	120	△2.5	—	98.7	2,056
35期末（2018年6月18日）	5,400	120	△0.3	—	98.5	1,874
36期末（2018年7月17日）	5,339	120	1.1	—	98.4	1,836
37期末（2018年8月17日）	5,243	120	0.4	—	98.6	1,736
38期末（2018年9月18日）	4,937	120	△3.5	—	97.9	1,600
39期末（2018年10月17日）	5,115	80	5.2	—	97.1	1,669
40期末（2018年11月19日）	5,081	80	0.9	—	99.2	1,604
41期末（2018年12月17日）	4,752	80	△4.9	—	98.4	1,423
42期末（2019年1月17日）	4,633	80	△0.8	—	98.7	1,346
43期末（2019年2月18日）	4,789	80	5.1	—	98.4	1,385
44期末（2019年3月18日）	4,715	80	0.1	—	98.0	1,323
45期末（2019年4月17日）	4,695	80	1.3	—	98.6	1,292
46期末（2019年5月17日）	4,367	80	△5.3	—	97.9	1,213
47期末（2019年6月17日）	4,384	80	2.2	—	98.4	1,222

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第42期首：4, 752円
第47期末：4, 384円（既払分配金480円）
騰 落 率：2. 3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にアメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの上昇が要因となり、基準価額は上昇しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行うとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、ブラジル・レアルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株式が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しました。オプション取引については、株式のオプションがマイナス要因、通貨のオプションがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率		
		円	%	%	%
第42期	（期 首）2018年12月17日	4,752	—	—	98.4
	12月末	4,395	△ 7.5	—	99.1
	（期 末）2019年1月17日	4,713	△ 0.8	—	98.7
第43期	（期 首）2019年1月17日	4,633	—	—	98.7
	1月末	4,744	2.4	—	98.6
	（期 末）2019年2月18日	4,869	5.1	—	98.4
第44期	（期 首）2019年2月18日	4,789	—	—	98.4
	2月末	4,842	1.1	—	98.6
	（期 末）2019年3月18日	4,795	0.1	—	98.0
第45期	（期 首）2019年3月18日	4,715	—	—	98.0
	3月末	4,517	△ 4.2	—	99.3
	（期 末）2019年4月17日	4,775	1.3	—	98.6
第46期	（期 首）2019年4月17日	4,695	—	—	98.6
	4月末	4,590	△ 2.2	—	98.5
	（期 末）2019年5月17日	4,447	△ 5.3	—	97.9
第47期	（期 首）2019年5月17日	4,367	—	—	97.9
	5月末	4,267	△ 2.3	—	98.7
	（期 末）2019年6月17日	4,464	2.2	—	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2018. 12. 18 ～ 2019. 6. 17）

■米国株式市況

ｉシェアーズ好配当株式ＥＴＦ（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年末にかけて、米国経済の先行き不透明感が高まる中、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が金融政策の正常化を進める方針を示したことが投資家心理を悪化させ、米国株の急落が世界的に拡大する展開となりました。2019年に入り、良好な米国の雇用統計を背景に米国経済の強さが再確認されたことや、ＦＲＢが利上げに慎重な姿勢へ方針転換したことが好感され、米国株式市況は上昇基調に転じました。その後は、米中両国のマクロ経済指標の改善や米中貿易摩擦への懸念後退などが好感され、米国株は堅調を維持しましたが、2019年５月に米国の対中制裁として関税率の引き上げや中国の通信機器大手ファーウェイに対する輸出禁止措置をきっかけに米中貿易摩擦が長期化するとの見方が強まり、米国株は調整しました。当作成期末にかけては、米中関係の悪化がもたらす米国経済の下振れ懸念から利下げ観測が高まり、株価は上昇基調となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首から2018年末にかけては、米国株式市場の急落が世界的に拡大する展開となり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、レアルは下落しました。2019年に入ると、ブラジル国内では１月に就任したボルソナロ大統領率いる新政権に対する期待が高まったほか、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が利上げに慎重な姿勢へ方針転換したことなどからレアルは上昇しましたが、３月下旬に入ると、トルコ・リラの急落を受けて新興国通貨が売られたほか、ブラジルの社会保障制度改革をめぐる法案成立が遅れるとの見通しなどから下落しました。５月には、米国が対中関税率の引き上げを表明したほか、中国の通信機器大手ファーウェイへの輸出を事実上禁止する規制を発効したことも、下落要因となりました。当作成期末にかけては、ブラジルの社会保障制度改革をめぐる進展期待などを背景に、上昇基調に転じました。

■短期金利市況

ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25％から2. 25～2. 50％に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を6. 50％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦ（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2018. 12. 18 ～ 2019. 6. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦを活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするＥＴＦにかかるコール・オプションの売りを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2018年12月18日～2019年１月17日	2019年１月18日～2019年２月18日	2019年２月19日～2019年３月18日	2019年３月19日～2019年４月17日	2019年４月18日～2019年５月17日	2019年５月18日～2019年６月17日
当期分配金(税込み)(円)	**80**	**80**	**80**	**80**	**80**	**80**
対基準価額比率（%）	1.70	1.64	1.67	1.68	1.80	1.79
当期の収益　(円)	72	80	80	77	70	80
当期の収益以外（円）	7	—	—	3	9	—
翌期繰越分配対象額　(円)	4,453	4,475	4,476	4,473	4,465	4,473

(注１)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注２) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注３) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a)経費控除後の配当等収益	✓ 72.12円	✓ 102.37円	✓ 80.01円	✓ 77.00円	✓ 70.90円	✓ 88.63円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c)収益調整金	4,299.20	4,300.54	4,302.87	4,304.61	4,308.41	4,310.10
(d)分配準備積立金	✓ 161.98	152.90	173.29	✓ 171.69	✓ 165.70	155.09
(e)当期分配対象額（a+b+c+d）	4,533.31	4,555.82	4,556.19	4,553.31	4,545.02	4,553.83
(f)分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g)翌期繰越分配対象額（e−f）	4,453.31	4,475.82	4,476.19	4,473.31	4,465.02	4,473.83

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦを活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプションの売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第42期～第47期 (2018. 12. 18～2019. 6. 17)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	28円	0. 603%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4, 616円です。**
（投信会社）	(10)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(17)	(0. 376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 057	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(3)	(0. 057)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	31	0. 664	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2018年12月18日から2019年６月17日まで）

決　算　期	第　42　期　～　第　47　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	6,739.03989	160,403	10,325.35642	252,241

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2018年12月18日から2019年６月17日まで）

第　42　期　～　第　47　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	621.44886	14,000	22	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	10,325.35642	252,241	24

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年12月18日から2019年６月17日まで）

決　算　期	第　42　期　～　第　47　期					
区　分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	330	330	100.0	—	—	—
コール・ローン	6,911,382	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第47期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	52,035.37285	1,203,005	98.4

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月17日現在

項目	第47期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,203,005	96.4
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	44,952	3.6
投資信託財産総額	1,248,118	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第41期末	第47期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

（注）単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年1月17日）、（2019年2月18日）、（2019年3月18日）、（2019年4月17日）、（2019年5月17日）、（2019年6月17日）現在

項目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A)資産	**1,374,777,678円**	**1,411,261,860円**	**1,348,548,332円**	**1,318,632,048円**	**1,238,235,577円**	**1,248,118,134円**
コール・ローン等	45,260,138	47,437,001	51,497,594	43,904,993	50,334,190	44,952,684
投資信託受益証券（評価額）	1,329,357,827	1,363,665,162	1,296,891,041	1,274,567,373	1,187,741,721	1,203,005,784
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,713	159,697	159,697	159,682	159,666	159,666
(B)負債	**28,239,408**	**25,325,922**	**25,045,486**	**26,159,468**	**24,930,941**	**25,468,653**
未払収益分配金	23,253,652	23,152,884	22,458,284	22,024,621	22,224,628	22,309,608
未払解約金	3,600,483	686,068	1,296,300	2,801,004	1,405,951	1,857,755
未払信託報酬	1,375,275	1,468,041	1,263,559	1,297,656	1,255,632	1,248,652
その他未払費用	9,998	18,929	27,343	36,187	44,730	52,638
(C)純資産総額（A－B）	**1,346,538,270**	**1,385,935,938**	**1,323,502,846**	**1,292,472,580**	**1,213,304,636**	**1,222,649,481**
元本	2,906,706,519	2,894,110,618	2,807,285,577	2,753,077,701	2,778,078,545	2,788,701,038
次期繰越損益金	△1,560,168,249	△1,508,174,680	△1,483,782,731	△1,460,605,121	△1,564,773,909	△1,566,051,557
(D)受益権総口数	**2,906,706,519口**	**2,894,110,618口**	**2,807,285,577口**	**2,753,077,701口**	**2,778,078,545口**	**2,788,701,038口**
1万口当り基準価額（C／D）	**4,633円**	**4,789円**	**4,715円**	**4,695円**	**4,367円**	**4,384円**

＊第41期末における元本額は2,995,418,284円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は183,162,498円、同解約元本額は389,879,744円です。
＊第47期末の計算口数当りの純資産額は4,384円です。
＊第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,566,051,557円です。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

■損益の状況

第42期　自2018年12月18日　至2019年１月17日　　第44期　自2019年２月19日　至2019年３月18日　　第46期　自2019年４月18日　至2019年５月17日
第43期　自2019年１月18日　至2019年２月18日　　第45期　自2019年３月19日　至2019年４月17日　　第47期　自2019年５月18日　至2019年６月17日

項　　目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A)配当等収益	**22,351,672円**	**30,269,846円**	**23,735,494円**	**22,505,751円**	**20,963,747円**	**25,867,596円**
受取配当金	22,351,860	30,271,429	23,736,652	22,506,807	20,964,413	25,869,097
受取利息	11	1	17	11	—	2
支払利息	△　199	△　1,584	△　1,175	△　1,067	△　666	△　1,503
(B)有価証券売買損益	**△　32,248,548**	**39,492,713**	**△　20,877,436**	**△　4,649,296**	**△　87,585,679**	**2,407,796**
売買益	2,188,990	39,736,676	460,471	442,212	286,081	2,534,760
売買損	△　34,437,538	△　243,963	△　21,337,907	△　5,091,508	△　87,871,760	△　126,964
(C)信託報酬等	**△　1,386,064**	**△　1,478,248**	**△　1,271,973**	**△　1,306,533**	**△　1,265,025**	**△　1,256,960**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**△　11,282,940**	**68,284,311**	**1,586,085**	**16,549,922**	**△　67,886,957**	**27,018,432**
(E)前期繰越損益金	**△　780,427,818**	**△　805,063,033**	**△　728,807,650**	**△　728,344,095**	**△　727,329,802**	**△　812,617,242**
(F)追加信託差損益金	**△　745,203,839**	**△　748,243,074**	**△　734,102,882**	**△　726,786,327**	**△　747,332,522**	**△　758,143,139**
(配当等相当額)	(　1,249,652,443)	(　1,244,625,647)	(　1,207,939,765)	(　1,185,093,979)	(　1,196,910,686)	(　1,201,959,456)
(売買損益相当額)	(△　1,994,856,282)	(△　1,992,868,721)	(△　1,942,042,647)	(△　1,911,880,306)	(△　1,944,243,208)	(△　1,960,102,595)
(G)合計（D＋E＋F）	**△　1,536,914,597**	**△　1,485,021,796**	**△　1,461,324,447**	**△　1,438,580,500**	**△　1,542,549,281**	**△　1,543,741,949**
(H)収益分配金	**△　23,253,652**	**△　23,152,884**	**△　22,458,284**	**△　22,024,621**	**△　22,224,628**	**△　22,309,608**
次期繰越損益金（G＋H）	**△　1,560,168,249**	**△　1,508,174,680**	**△　1,483,782,731**	**△　1,460,605,121**	**△　1,564,773,909**	**△　1,566,051,557**
追加信託差損益金	△　745,203,839	△　748,243,074	△　734,102,882	△　726,786,327	△　747,332,522	△　758,143,139
(配当等相当額)	(　1,249,652,443)	(　1,244,625,647)	(　1,207,939,765)	(　1,185,093,979)	(　1,196,910,686)	(　1,201,959,456)
(売買損益相当額)	(△　1,994,856,282)	(△　1,992,868,721)	(△　1,942,042,647)	(△　1,911,880,306)	(△　1,944,243,208)	(△　1,960,102,595)
分配準備積立金	44,795,991	50,727,289	48,654,922	46,444,801	43,508,193	45,659,543
繰越損益金	△　859,760,401	△　810,658,895	△　798,334,771	△　780,263,595	△　860,949,580	△　853,567,961

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,965,608円	29,628,428円	22,463,517円	21,199,211円	19,698,720円	24,717,722円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,249,652,443	1,244,625,647	1,207,939,765	1,185,093,979	1,196,910,686	1,201,959,456
(d) 分配準備積立金	47,084,035	44,251,745	48,649,689	47,270,211	46,034,101	43,251,429
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,317,702,086	1,318,505,820	1,279,052,971	1,253,563,401	1,262,643,507	1,269,928,607
(f) 分配金	23,253,652	23,152,884	22,458,284	22,024,621	22,224,628	22,309,608
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	1,294,448,434	1,295,352,936	1,256,594,687	1,231,538,780	1,240,418,879	1,247,618,999
(h) 受益権総口数	2,906,706,519口	2,894,110,618口	2,807,285,577口	2,753,077,701口	2,778,078,545口	2,788,701,038口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2019年６月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2018年９月30日

資産		
金融資産（損益通算後の評価額）	¥	1,618,877,993
資産合計		1,618,877,993
負債		
負債合計		—
資本（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産）		
受益証券元本		3,208,558,393
繰越損失		(1,589,680,400)
資本合計	¥	1,618,877,993
資本・負債合計	¥	1,618,877,993

包括利益計算書

2018年９月30日に終了した年度

収益		
手数料収入	¥	643, 910, 891
金融資産および負債に係る純実現利益（損益通算後の評価額）		82, 256, 849
金融資産および負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(822, 823, 808)
収益（損失）合計		(96, 656, 068)
費用		
報酬支払代行人手数料		7, 975, 217
費用合計		7, 975, 217
営業利益（損失）		(104, 631, 285)
包括利益（損失）合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増（減））	¥	(104, 631, 285)

2018年９月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	3, 522, 392, 338　円
評価額	1, 618, 877, 993　円
評価損	(1, 903, 514, 345) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2019年６月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2018年12月18日から2019年６月17日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	330,004		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年６月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書　第10期（決算日　2018年12月10日）

（作成対象期間　2017年12月12日～2018年12月10日）

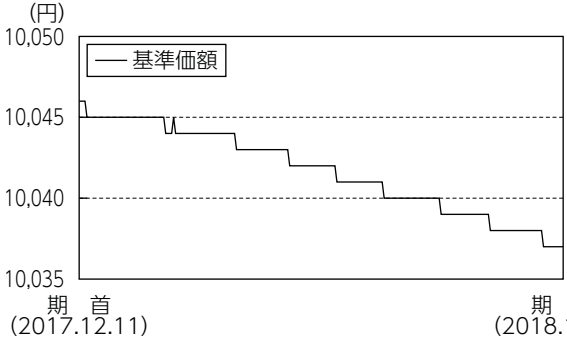
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,046	−	−
12月末	10,045	△0.0	−
2018年1月末	10,045	△0.0	−
2月末	10,044	△0.0	0.5
3月末	10,044	△0.0	−
4月末	10,043	△0.0	−
5月末	10,042	△0.0	−
6月末	10,041	△0.0	−
7月末	10,040	△0.1	−
8月末	10,040	△0.1	−
9月末	10,039	△0.1	−
10月末	10,038	△0.1	−
11月末	10,037	△0.1	−
(期末)2018年12月10日	10,037	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,046円　期末：10,037円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	3
(その他)	(3)
合計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	900,005	− (900,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当期				
買付			売付	
銘柄	金額		銘柄	金額
	千円			千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	400,003			
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001			
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,363,521	100.0
投資信託財産総額	69,363,521	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	**69,363,521,826円**
コール・ローン等	69,363,521,826
(B) 負債	**4,205,708**
その他未払費用	4,205,708
(C) 純資産総額(A－B)	**69,359,316,118**
元本	69,103,393,644
次期繰越損益金	255,922,474
(D) 受益権総口数	**69,103,393,644口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,037円**

＊期首における元本額は126,824,072,530円、当作成期間中における追加設定元本額は34,268,505,333円、同解約元本額は91,989,184,219円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）688,792,367円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）13,951,738,463円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－07（為替ヘッジあり）1,247,428,788円、通貨選択型　米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）267,324,664円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）Ⅱ 74,557,679円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－12（為替ヘッジあり）207,961,746円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－02（為替ヘッジあり／限定追加型）158,901,180円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－08（為替ヘッジあり／限定追加型）1,350,789,013円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、ダイワＪＰＸ日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,783,296,400円、ＡＨＬターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）1,692,026,279円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）852,128,164円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）33,557,519,292円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド5,408,343円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワＴＯＰＩＸベア・ファンド（適格機関投資家専用）11,262,889,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－　ＵＳトライアングル　－　997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド　－予想分配金提示型－　173,802円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期　自2017年12月12日　至2018年12月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 40,939,945円**
受取利息	308,822
支払利息	△ 41,248,767
(B) 有価証券売買損益	**△ 2**
売買損	△ 2
(C) その他費用	**△ 26,534,819**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 67,474,766**
(E) 前期繰越損益金	**577,677,502**
(F) 解約差損益金	**△399,394,006**
(G) 追加信託差損益金	**145,113,744**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**255,922,474**
次期繰越損益金(H)	**255,922,474**

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。